



海の豊かさを守ろう！ ヘチマプロジェクト



正真正銘 自分の髪

株式会社毛髪クリニックリーブ21

ヘチマプロジェクトとは・・・？

食器洗い等でプラスチック製スポンジを使うと、マイクロプラスチックごみが排出され、排水口から河川を通り、やがて海洋へ流出していきます。



ヘチマプロジェクトとは・・・？

そのマイクロプラスチックごみを魚が食べ、その魚を人間が食べると、健康への悪影響が懸念されます。



ヘチマプロジェクトとは・・・？

このような構図をなくすため、「ヘチマ」を育てて「たわし」を作り、その利用を推奨・普及させるSDGsの取り組みです。



へちまプロジェクト2022

2022年春、大阪市内・堺市内の幼稚園・小学校・中学校など計7校園で、実施。



へちまプロジェクト2022

各校園にて、へちまを栽培。



へちまプロジェクト2022

冬、収穫したへちまで、たわしを作製。



へちまプロジェクト2022

作ったへちまたわしを校内や各家庭で使う他、



へちまプロジェクト2022

金銭教育の一環として、子供たちがイベント出店で販売。



へちまプロジェクト2022

イベントでは、へちま栽培の輪を広げるため、購入者に、へちまの種と栽培方法を記載した書面を配布。



へちまプロジェクト2022

へちまたわしの販売収益を
子ども食堂に寄付しました。

この仕組みによって、



へちまプロジェクト2022

へちまたわしの、

①生産者（=子供たち）

②購入者

③利用者

の全員が、海の豊かさを
守るために貢献しており、



へちまプロジェクト2022

さらに、販売収益を
子ども食堂の支援に
役立てることが
できました。



へちまプロジェクト2022

約1年間、へちまプロジェクトに取り組んだ各校園の子供たちを評価し、「さかいSDGs推進プラットフォーム事務局」より、表彰状が贈られました。



へちまプロジェクト2022⇒2023

リーブ21

正真正銘 自分の髪

また、堺市内のこども園では、「持続可能な活動」にするため、年長組の子どもたちから、年中組の子どもたちへ、「へちまの種」が引き継がれ、2年目の「へちまプロジェクト」がスタートしています。



ヘチマプロジェクト2023

2023年春、大阪市、堺市以外でも、新たに神戸市、兵庫県多可町、奈良県生駒市の各小学校で「ヘチマプロジェクト」がスタートし、SDGsの輪が広がっています。



へちまプロジェクト2022 (小学校)



へちまプロジェクト2022 (こども園)



共創を希望する方々・活動について

「ヘチマプロジェクト」に取り組む子供たちの頑張りを支えるため、SDGsの出前授業やヘチマたわし作り等、当プロジェクトに主体的に取り組んでくださる企業様との共創を希望しております。

日本国内のみならず、海外でも実施される取り組みとなるよう、更に活動の輪を広げていきたいと考えております。ご連絡をお待ちしております。

【お問い合わせ】

株式会社毛髪クリニックリーブ21

SDGs-GX部

sdgs@reve21.co.jp 迄

